



# 潤いファースト

— 支援計画 —



さいたま市

## 「潤いファイル」について

「潤いファイル」は、特別な支援を必要とする方<sup>〓</sup>の出生から高等学校までの成長の様子と本人<sup>〓</sup>が、支援機関（教育・医療・福祉・保健・労働）で受けてきた支援計画や内容を1冊にまとめ、保護者（本人<sup>〓</sup>）と関係者との連携を円滑にするためのコミュニケーションツール（意志や情報を伝達するための道具）です。

具体的には、「潤いファイル」を通して保護者が本人<sup>〓</sup>の情報を伝えることによって、支援機関が本人<sup>〓</sup>の特性を理解しやすくなり、保護者と支援機関の連携をスムーズにします。また、支援機関の間で本人<sup>〓</sup>の情報を共有することで理解を深め、より適切な支援を考えていくことができます。

特に、幼児教育機関（幼稚園・幼稚部、保育園、療育機関等）、小学校（小学部）、中学校（中学部）、高等学校（高等部）では、家庭と学校等が協力して支援の計画（支援シート）を立て、その計画に基づいて具体的な支援を実施します。

このように「潤いファイル」は、高等学校卒業後の生活支援や就労支援につなげ、本人<sup>〓</sup>の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援することをねらいとしています。

また、さいたま市は「潤いファイル」により、教育・医療・福祉・保健・労働の専門機関が連携・協力して、本人<sup>〓</sup>とそのご家族に対して乳幼児期から学校卒業後まで一貫した相談・支援体制の整備・充実を推進しています。



## 「潤いファイル」の内容

「潤いファイル」は、次のような３つのシートで構成されています。

☆ フェイスシート：本人のプロフィールや相談・支援の履歴を記録するシート

☆ 理解シート：本人の特性を理解し、教育的ニーズを考えるシート

※ 就学相談において、相談員と一緒に作成します。

☆ 支援シート：教育的ニーズに応じた適切な支援を計画するシート

※ 特別支援学級、特別支援学校等で使用している様式がある場合は、その様式で作成し、ファイルの該当ページにはさんでください。

これらのシートの作成時期は、年齢に応じて受けられる支援とリンクしています。次のページの活用例を参考にしてください。

## ～ 目 次 ～

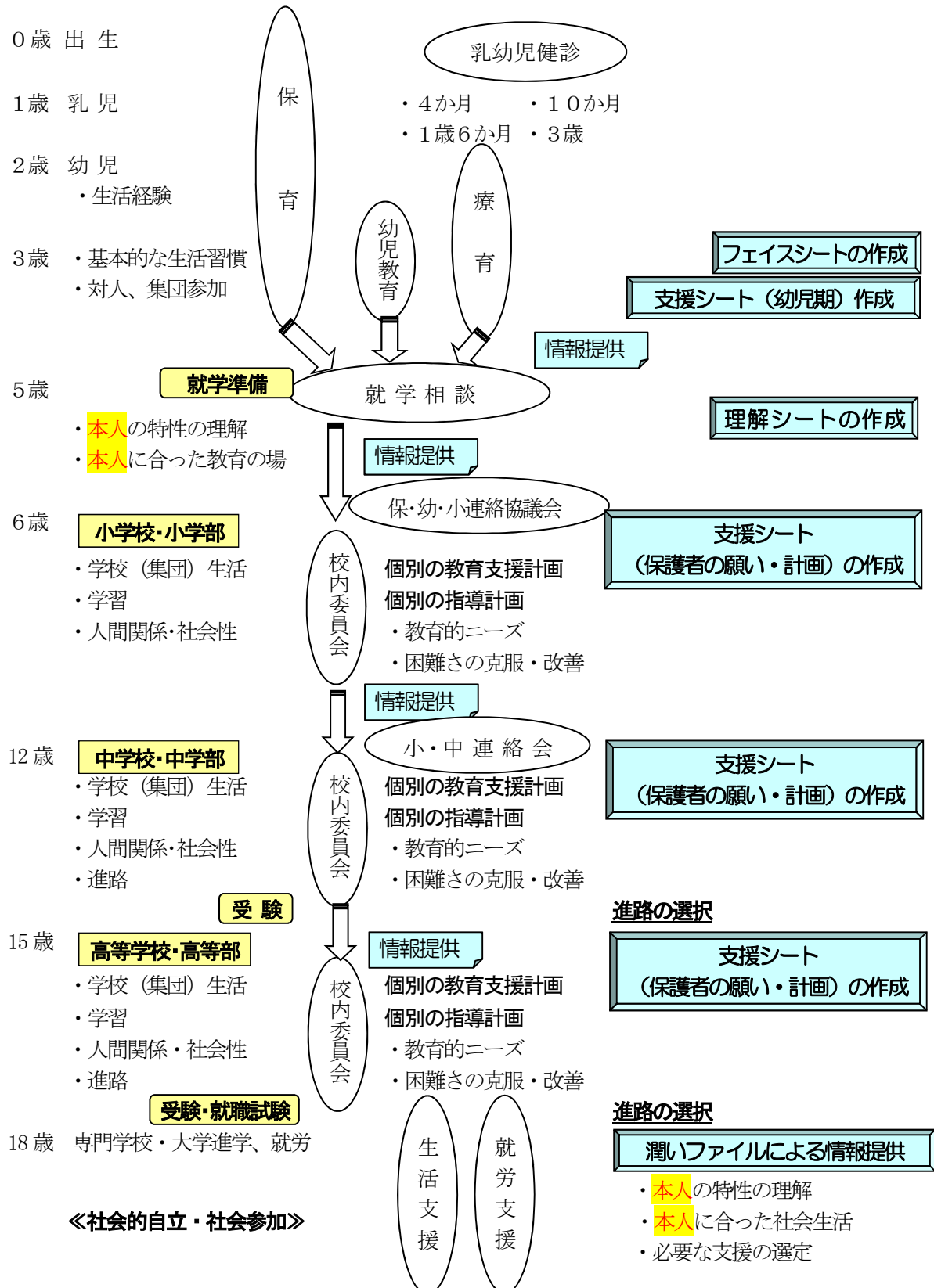
- 1 「潤いファイル」について
- 2 「潤いファイル」の内容
- 3 支援の流れと「潤いファイル」の活用例
- 4 「潤いファイル」の活用について
- 5 シートの記入例
- 6 フェイスシート
- 7 理解シート
- 8 支援シート 幼児期
- 9 支援シート 小学校・小学部 低学年 中学年 高学年
- 10 支援シート 中学校・中学部
- 11 支援シート 高等学校・高等部
- 12 困ったときの連絡先

## 支援の流れと「潤いファイル」の活用例

本人の  
年齢

支援のながれ

「潤いファイル」の  
活用



## 「潤いファイル」の活用について

本人の情報は、成長とともに増えます。「潤いファイル」のシート以外にも、検査結果の詳細、個別の指導計画などの必要な情報はファイルしてください。そして、ご家庭で大切に保管し、支援機関との情報交換等に役立ててください。

「潤いファイル」の活用にあたってのお願いは、以下のようになります。

### 保護者の皆様へ

- 特別支援教育相談センターでの相談を受けている方は、配付の際に過去の支援情報等を記入したり、資料をファイルにまとめておいたりしてください。
- 「潤いファイル」は、保護者又は本人が管理します。
- 支援機関等への「潤いファイル」の提示は、保護者又は本人が決めます。
- 他の支援機関との情報共有に役立ててください。
- 必要に応じて、医療・福祉等の支援機関の情報（心理検査（発達検査・知能検査等）の結果、服薬の情報、放課後等デイサービスの支援計画書等）をとじておくことができます。
- 学校から個別の教育支援計画や個別の指導計画を受け取った場合は、支援シートの代わりにとじておくことができます。
- 年度が変わる際（担任が替わる際）にも学校と相談し、作成してください。
- 「潤いファイル」の各シートは、下記のホームページからダウンロードできます。ページを追加したい場合にご活用ください。

Q検索 [さいたま市 潤いファイル](https://www.city.saitama.jp/002/003/004/003/001/p008954.html) 又は [さいたま市 特別支援教育](https://www.city.saitama.jp/003/002/017/index.html)  
【さいたま市／潤いファイル HP】

<https://www.city.saitama.jp/002/003/004/003/001/p008954.html>

【さいたま市／特別支援教育 HP】

<https://www.city.saitama.jp/003/002/017/index.html>

QR  
コード

QR  
コード

### 支援機関の方へ

- 個人情報の取扱いについては、十分な配慮をお願いします。
- 協力を依頼された際には、情報提供等、作成のご協力をお願いします。



## シートの記入例

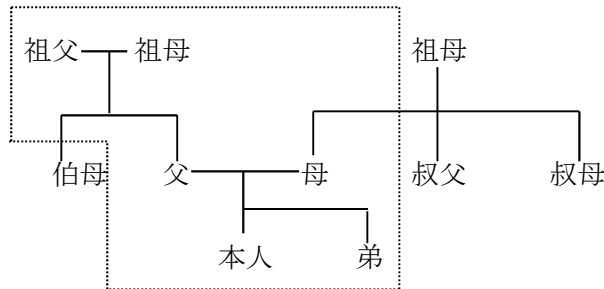
保護者が、記入できるところをまずはご記入ください。  
療育・医療機関での検査などにつきましては、担当者にご確認いただき、ご記入ください。

### 1 フェイスシート

【家族構成】 \* お子さんを除く 同居家族以外でも支援できる方をご記入ください。

氏 名	続 柄	生 年 月	緊急の連絡先（携帯等）	備 考 (可能な支援を具体的に)
埼玉 太郎	父	S55年6月	090-〇〇〇〇-△△△△	
浦和 うめ	祖母	S25年2月	090-△△△△-〇〇〇〇	別居。車の運転ができる。 療育機関への送迎可能。

【家族関係図】 \*同居の家族を   で囲んでください。



### 【生 育 歴】

\*母子手帳を参考にご記入ください。

### 【保育・教育歴】

	園 名 ・ 学校名	備 考 (転校など就学の場の変更等)
幼児期	さいたま幼稚園	年少から入園
小学校 【小学部】	さいたま市立〇〇小学校	さいたま市立△△小学校 (H28. 4、2 年時に転校)

### 【相 談 歴】

期 間	相談機関名	相 談 内 容	担当者
H 2 5 年 5 月～ 年 月 ( 3 歳～ 歳)	〇区保健センター	言葉が出てくるのが遅かった。 同年齢の子どもと遊べなかった。 親子教室に参加。	〇〇

【診 断】【服 薬】 \*医療機関にご確認ください。

【実施検査】心理検査（発達検査・知能検査等）

検査内容・検査名	検 査 日	実施機関	検 査 結 果
WISC-IV	R 3 年 5 月	〇〇センター	FSIQ◇ VCI◇ PRI◇ WMI◇PSI◇
新版 K 式	R 2 年 1 月	△△病院	姿勢運動□ 認知適応□ 言語社会□ 全□

【手 帳】 \* 交付の毎にご記入ください。

## 2 理解シート

【将来に向けての本人及び保護者の願い/心配なこと】

- ・周りの友だちと関わりながら、コミュニケーションがとれるようになってほしい。
- ・人との関わりが苦手で、1人で遊んでいることが多いため、仲の良い友だちができるかどうか心配である。

【本人の好きなこと/苦手なこと】

＜好きなこと・得意なこと＞

- ・ブロックや粘土遊びが好きである。
- ・テレビやアニメのキャラクターの名前を覚えることが得意である。

＜苦手なこと・嫌いなこと＞

- ・筋道を立てて話をするのが苦手である。
- ・初めての場所、人、活動が苦手である。
- ・大きな音、子どもの泣き声などが苦手である。

【こんなサポートがあれば(個別の支援・合理的配慮)】

- ・聞いて理解することの苦手さがあるため、1回に出す指示を少なくしたり、視覚的なヒント（具体物・手本・見本）を用いて伝えたりすることで、理解しやすくなります。
- ・注意集中の苦手さがあるため、座席は前の方にしたり、注目させてから指示したりすることで、集中して取り組めるようになります。
- ・友達との関わりの苦手さがあるため、必要に応じて大人が間に入り、仲介役（気持ちの橋渡し役）をしてもらうことで、適切な関わり方を具体的に学んでいきます。
- ・書字の苦手さがあるため、課題量や時間の調整をしたり、本人のできそうな課題を示したりすることで、取り組みやすくなります。

【その他】 \* 支援機関に伝えておきたいことを、ご記入ください。

- ・体の動き（車椅子、バギー、座位保持椅子、ヘッドギア、インソールなど使用）
- ・見え方（拡大鏡、眼鏡等の使用）
- ・聞こえ（補聴器、人工内耳、FM補聴システム、ロジャー等の使用）
- ・アレルギー ・医療的ケア ・障害者手帳
- ・心理検査（発達検査・知能検査等の結果） ・診断名 ・服薬の情報

【就学相談の記録A】 \*就学相談において、相談担当と作成します。

項 目		現 在 の 状 態					備考
日常生活	健康・安全上の配慮	ピーナッツアレルギーがある。 飛び出しがあるため、外出時は手をつないでいる。 歩行が不安定であり、階段では見守りが必要である。					
	食 事	全面的な支援が必要である	大部分を手伝ってもらえる	半分を手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	自分ひとりでできる	・エジソン箸で練習中である。 ・偏食がある。 ・声をかけると、正しい持ち方に直して箸がもてる。
	排 泄	全面的な支援が必要である	大部分を手伝ってもらえる	半分を手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	自分ひとりでできる	・自分で用を足したい時にトイレに行く。 ・大便後の始末もできるが、大人が確認をしている。
	着 脱	全面的な支援が必要である	大部分を手伝ってもらえる	半分を手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	自分ひとりでできる	・目印があれば前後の確認ができる。 ・身だしなみの確認は、大人が行っている。
運動	粗大運動（移動・階段、運動等）	全面的な支援が必要である	課題が大きい	課題がある	やや課題がある	課題がない	・階段の上りは交互に上ることができる。下りは、手すりがあると安心である。
	微細運動（手先の操作性等）	全面的な支援が必要である	課題が大きい	課題がある	やや課題がある	課題がない	・ハサミを正しくもって切ることができる。 ・イメージした絵を、描くことができる。

【就学相談の記録 B】 \*当てはまるものに☑をつけてください。

視 覚	視 力	裸 眼	右（ 0. 1 ）	左（ 0. 1 ）
		矯 正	右（ 0. 5 ）	左（ 0. 5 ）
	✓	5m離れたところから、人の顔がわかる。		
		めがねやルーペを使えば、文字の読み書きができる。		
覚		極端に目を近づけて、ものを見る。		
	✓	不自然に顔を動かして、物を見る。		

聴 覚	聴 力	平均聴力	右（ 70 ） dB	左（ 80 ） dB
		補 聴 器	右（ 30 ） dB	左（ 40 ） dB
	✓	補聴器（人工内耳）を使用すれば、日常生活にほとんど支障がない。		
		補聴器（人工内耳）を使用すれば、普通の会話をなんとか聞き取ることができる。		
覚		補聴器（人工内耳）を使用すれば、大きな音は聞き取ることができるが会話は聞き取れない。		
	✓			

肢 体		補装具等を使用しなくても、日常生活にほとんど支障がない。		
		補装具を使うことで、一人で歩くことができる。		
		伝い歩きならばできる。（ 補装具が必要 ・ 補装具は必要なし ）		
	✓	手をつなぐ、脇を支えるなどの支援があれば、歩くことができる。		
		車椅子で自力移動ができる。（ 通常 ・ 電動 ）		



### 3 支援シート

【小 学 校 中 学 年】			
項 目	課題・目標	支援・手立て	結果
家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の使ったものは、自分で片づけられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1週間に1回、部屋の片づけをする日を決め、取り組むようにする。</li> <li>最初は、親も一緒に片づけ、少しずつ自分でやることを増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親が手伝うこともあるが、週に1回の片づけを、声をかけなくても行える日が増えてきた。</li> </ul>
学 習	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を丁寧に書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ゆっくり、じっくり」を合言葉に、丁寧に書くことを意識づけていく。</li> <li>集中して書けるようにし、学校と相談して、1文字の練習の数を減らす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>声をかけると、丁寧に書くことを意識することができた。</li> <li>練習量を減らしたため、全部ではないが、丁寧に書ける文字が増えた。</li> </ul>
生活・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団活動に参加できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初は見学からスタートし、できるところから参加していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やることがわかると、参加することができた。</li> </ul>
社会性・対人関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちにやさしい口調で話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乱暴な言葉を言ったときは、相手の気持ちについて考え、どのように言えばよかったかを一緒に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いたときに振り返りをするようになった。</li> </ul>

【個別の支援・合理的配慮】＊支援・手立てと同じ内容でも可

- ・書字が苦手なので、集中して書けるようにし、学校と相談して、1文字の練習の数を減らした。
- ・学習塾でも相談して、宿題の量を減らした。

※支援・手立てなどは、必要に応じて書き加えていきます。

※個別の教育支援計画をもとに、学校と相談し作成してください。学校から個別の教育支援計画や個別の指導計画を受け取った場合は、支援シートの代わりにとじることができます。

※支援シートについて足りない場合には、コピーもしくはホームページからダウンロードしてご活用ください。

# フェイスシート

ふりがな 氏 名	(男・女)	生年月日	年 月 日生
居 住 地	〒		
	【自宅】 ( )	【携帯】 ( )	
	〒		
	【自宅】 ( )	【携帯】 ( )	
	〒		
	【自宅】 ( )	【携帯】 ( )	
保護者氏名			

【家族構成】 \* ~~お子さんを除く~~ 同居家族以外でも支援できる方をご記入ください。

氏 名	続 柄	生 年 月	緊急の連絡先（携帯等）	備 考 (可能な支援を具体的に)
		年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		
【家族関係図】				

【生 育 歴】 胎生期・出生期・乳児期・幼児期

時期	項 目	生 育 の 状 況
胎 生 期 ・ 出 生 期	出生児の父母の年齢	父（      歳） 母（      歳）
	妊娠中の母親の健康	健康・他（                      ）・疾病（                      ）
	妊娠中の薬の服用	無 ・ 有（                      ）
	妊娠期間	在胎      か月（予定より      日 早・遅）
	分 娩	普通・逆子・鉗子・吸引・帝王切開・他（                      ）
	胎児	普通・衰弱・仮死・双子・臍帯てん絡・他（                      ）
	出生時の体重	（                      g）
	泣き方	強 ・ 中 ・ 弱
	黄 疸	普通・軽 ・ 重
	保育器使用	無 ・ 有（                      日）
乳 児 期	栄 養	母乳 ・ 人工乳 ・ 混合乳
	発育状況	良い ・ 普通 ・ 悪い
	離 乳	歳      月
	首のすわり	歳      月
	歩き始め	歳      月
	かたことを言う（発語）	歳      月
	おむつがとれた時期	歳      月
	簡単な服を一人で着替える	歳      月
幼 児 期	発育状況	良い ・ 普通 ・ 悪い
	知恵づき	早かった ・ 普通 ・ 遅かった
	遊びの種類	
	心配だった行動の特徴・くせ	
	主な病気	
	育 児 で 気 に な っ た こ と	<div>           ＊ <input type="checkbox"/> に✓(チェック)を入れてください。         </div> <div> <input type="checkbox"/> 視線が合わなかった           <input type="checkbox"/> 人見知りをしなかった         </div> <div> <input type="checkbox"/> 動作の模倣をしなかった           <input type="checkbox"/> 指さしをしなかった         </div> <div> <input type="checkbox"/> 抱かれることを嫌がった           <input type="checkbox"/> 母親の後追いをしなかった         </div> <div> <input type="checkbox"/> 昼寝をしなかった、眠りが浅かった           <input type="checkbox"/> 夜泣きが多かった         </div> <div> <input type="checkbox"/> 育てやすくおとなしかった           <input type="checkbox"/> とても手がかかった         </div> <div> <input type="checkbox"/> 友達とあまり遊ばなかった           <input type="checkbox"/> 反抗期がなかった         </div>
【特記事項、気づいたこと 等】		

【保育・教育歴】 保育園・幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等

	園 名 ・ 学校名	備 考 (転校など就学の場の変更等)
幼児期		
小学校 【小学部】		
中学校 【中学部】		
高等学校 【高等部】		

【相 談 歴】 保健・医療、療育、福祉、教育相談等

(例：保健センター、児童相談所、療育機関、児童デイサービスなど)

期 間	相談機関名	相 談 内 容	担当者
年 月～ 年 月 ( 歳～ 歳)			
年 月～ 年 月 ( 歳～ 歳)			
年 月～ 年 月 ( 歳～ 歳)			
年 月～ 年 月 ( 歳～ 歳)			
年 月～ 年 月 ( 歳～ 歳)			
年 月～ 年 月 ( 歳～ 歳)			

# 【診 断】

診 断 名 ・ 月 日 (歳)		医療機関	医師氏名
年 月 ( 歳)			
【備考】療育・訓練等			
年 月 ( 歳)			
【備考】療育・訓練等			
脳波の異常	有 無 未実施	その他 (熱性けいれん等)	

# 【服 薬】

薬 剤 名	投 薬 期 間	医療機関	医師氏名
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
【医師の指示 等】			

# 【実施検査】 心理検査（発達検査・知能検査等）

検査内容・検査名	検 査 日	実施機関	検 査 結 果
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		

# 【手 帳】 再交付も記入してください。

手帳名	交付日・等級	再交付・等級	再交付・等級
身体障害者手帳	年 月 日 ( 種 級)	年 月 日 ( 種 級)	年 月 日 ( 種 級)
療育手帳	年 月 日 ( )	年 月 日 ( )	年 月 日 ( )
精神障害者福祉手帳	年 月 日 ( 級)	年 月 日 ( 級)	年 月 日 ( 級)

理 解 シ ー ト

記入日      年      月      日

氏名 \_\_\_\_\_

【将来に向けての**本人**及び保護者の願い/心配なこと】

【**本人**の好きなこと/苦手なこと】

【こんなサポートがあれば(**個別の支援・合理的配慮**)】

【その他】 **※支援機関に伝えておきたいことをご記入ください。**

※理解シートに関しては、必要な部分は書き加えてください。

【就学相談の記録A】 記入日 年 月 日現在( 歳 月)

\* 当てはまるものに○をつけてください。

氏名

項 目		現 在 の 状 態					備考
日常生活	健康・安全上の配慮						
	食 事	全面的な支援が必要である	大部分を手伝ってもらえる	半分を手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	自分ひとりでできる	
	排 泄	全面的な支援が必要である	大部分を手伝ってもらえる	半分を手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	自分ひとりでできる	
	着 脱	全面的な支援が必要である	大部分を手伝ってもらえる	半分を手伝ってもらえる	少し手伝ってもらえる	自分ひとりでできる	
運動	粗大運動 (移動・階段、運動等)	全面的な支援が必要である	課題が大きい	課題がある	やや課題がある	課題がない	
	微細運動 (手先の操作性等)	全面的な支援が必要である	課題が大きい	課題がある	やや課題がある	課題がない	
言語	表出言語 (要求伝達)	・意思伝達は難しい ・発声や身振り	1～2語文で意思の伝達をする	3語文で意思の伝達をする	多語文で意思の伝達をする	文章をつなげて意思の伝達をする	
	理解言語 (指示理解)	・指示理解は難しい ・簡単な話しかけに反応する	個別であれば簡単な指示が理解できる	日常場面の簡単な指示が理解できる	大体ことばの指示を理解できる	正しくことばの指示を理解できる	
社会性	対人関係	全面的な支援が必要である	課題が大きい	課題がある	やや課題がある	課題がない	
	集団参加	全面的な支援が必要である	課題が大きい	課題がある	やや課題がある	課題がない	
学習	文字		数				
	1 興味がない 2 興味はある(読みを聞く等) 3 自分の名前が読める 4 ひらがなを拾い読みする 5 ひらがな46文字読める 6 絵本の文章を読める	1 興味がない 2 興味がある 3 順序数が言える 4 10までの具体物が数えられる 5 多くの中から「5」取れる 6 5以下の足し算ができる					
行動特性							

【就学相談の記録 B】 \* 当てはまるものに☑をつけてください。

視	視力	裸眼	右 (            )	左 (            )
		矯正	右 (            )	左 (            )
		5m離れたところから、人の顔がわかる。		
		めがねやルーペを使えば、文字の読み書きができる。		
		極端に目を近づけて、ものを見る。		
覚		不自然に顔を動かして、物を見る。		
		歩く先を足でさぐりながら歩く。		
		周辺のものに気づかずにぶつかったり、つまづいたりする。		
		明るいところでは、まぶしがる。		
		見えてはいないが、光に対する反応はある。		
		暗いところでは、見えない。		
		学校では、拡大教科書を使用する。		

聴	聴力	平均聴力	右 (            ) dB	左 (            ) dB
		補聴器	右 (            ) dB	左 (            ) dB
		補聴器（人工内耳）を使用すれば、日常生活にほとんど支障がない。		
		補聴器（人工内耳）を使用すれば、普通の会話をなんとか聞き取ることができる。		
		補聴器（人工内耳）を使用すれば、大きな音は聞き取ることができるが会話は聞き取れない。		
覚		補聴器を使用しても、大きな音が聞き取りにくい。		
		聞こえているか聞こえていないかわからない。		
		補聴器は持っているが、つけていない（つけたがらない）。		
		補聴器を持っていない。大きな音は聞こえているようだが、音への反応は悪い。		

肢		補装具等を使用しなくても、日常生活にほとんど支障がない。		
		補装具を使うことで、一人で歩くことができる。		
		伝い歩きならばできる。（ 補装具が必要 ・ 補装具は必要なし ）		
		手をつなぐ、脇を支えるなどの支援があれば、歩くことができる。		
		車椅子で自力移動ができる。（ 通常 ・ 電動 ）		
		四つばいができる。		
体		あぐらで座ることができる。		
		椅子に座ることができる。		
		本人に合わせた椅子やクッションチェアがあれば、座ることができる。		
		自分の体を動かすのに、全面的な支援が必要である。		
	自助具等を使うことで筆記ができる。			



## 支援シート 幼児期

氏名 \_\_\_\_\_

### 【保護者の願い】

☆生活面

☆社会性・対人関係

### 【幼児期】

**\*幼稚園・保育園等の入園時、卒園時に担任の先生と作成します。**

項 目	課題・目標	支援・手立て	結果
家庭生活			
生活 ・ 行動			
社 会 性 ・ 対人関係			

### 【個別の支援・合理的配慮】

--

# 支援シート 小学校・小学部 低学年

氏名

【 小 学 校 低 学 年 】			
項 目	課題・目標	支援・手立て	結果
家庭生活			
学 習			
生活 ・ 行動			
社 会 性 ・ 対人関係			

※支援シートについては、必要な項目のみ記入してください。

【個別の支援・合理的配慮】

# 支援シート 小学校・小学部 中学年

氏名

【 小 学 校 中 学 年 】			
項 目	課題・目標	支援・手立て	結果
家庭生活			
学 習			
生活 ・ 行動			
社 会 性 ・ 対人関係			

※支援シートについては、必要な項目のみ記入してください。

【個別の支援・合理的配慮】

# 支援シート 小学校・小学部 高学年

氏名

【 小 学 校 高 学 年 】			
項 目	課題・目標	支援・手立て	結果
家庭生活			
学 習			
生活 ・ 行動			
社 会 性 ・ 対人関係			

※支援シートについては、必要な項目のみ記入してください。

【個別の支援・合理的配慮】

【 中 学 校 ・ 中 学 部 】			
項 目	課題・目標	支援・手立て	結果
家庭生活			
学 習			
生活 ・ 行動			
社 会 性 ・ 対人関係			
進 路			

※支援シートについては、必要な項目のみ記入してください。

【個別の支援・合理的配慮】

--

【高等学校・高等部】			
項目	課題・目標	支援・手立て	結果
家庭生活			
学 習			
生活 ・ 行動			
社 会 性 ・ 対人関係			
進 路			

※支援シートについては、必要な項目のみ記入してください。

【個別の支援・合理的配慮】

--

【高等学校・高等部】			
項目	課題・目標	支援・手立て	結果

※支援シートについては、必要な項目を自分で立てて、記入してください。

## 困った時の相談先

(令和2年4月現在)

お子さんを育てていて「ちょっと気になる」、「育てにくいな」、「どう関わったらいいのかしら」等心配に思われることもあることと思います。また、学校などで集団生活上の課題が、成長するにつれて出てくることもあります。特別な支援の必要なお子さんには、早く気づき、適切な支援を行うことが大切です。まずは、下の機関にご相談ください。

市内在住・在学の児童生徒の保護者を対象として、発達や特別な教育的支援に関する教育相談を行います。

市内在住で次年度小学校入学予定者（未就学児）の保護者を対象として、特別な教育的支援や適切な学びの場に関する就学相談を行います。

- ☆ さいたま市教育委員会 特別支援教育相談センターひまわり  
〒331-0052 さいたま市西区三橋6-1587  
TEL 048-623-5879 FAX 048-623-5979
- ☆ さいたま市教育委員会 特別支援教育相談センターさくら草  
〒336-0911 さいたま市緑区三室636-80  
TEL 048-810-5030 FAX 048-874-8522

市内在住・在学の児童生徒、保護者等の学校生活にかかわる不安や悩み、就学前の幼児のことばの相談などを、専門の相談員がお受けします。

- ☆ さいたま市教育委員会 北教育相談室（担当区：北区 西区）  
〒331-0823 さいたま市北区日進町2-1915-1  
TEL 048-661-0050 FAX 048-653-4729
- ☆ さいたま市教育委員会 堀崎教育相談室（担当区：大宮区 見沼区）  
〒337-0052 さいたま市見沼区堀崎町48-1  
TEL 048-688-1414 FAX 048-688-1464
- ☆ さいたま市教育委員会 あいぱれっと教育相談室（担当区：中央区 桜区）  
〒330-0071 さいたま市浦和区上木崎4-4-10  
TEL 048-711-5433 FAX 048-711-5672
- ☆ さいたま市教育委員会 岸町教育相談室（担当区：浦和区 南区）  
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町6-13-15  
TEL 048-838-8686 FAX 048-866-4353
- ☆ さいたま市教育委員会 岩槻教育相談室（担当区：岩槻区）  
〒339-8585 さいたま市岩槻区本町3-2-5ワッツ東館4階  
TEL 048-790-0227 FAX 048-790-0257
- ☆ さいたま市教育委員会 美園教育相談室（担当区：緑区）  
〒336-0967 さいたま市緑区美園4-19-1  
TEL 048-711-7215 FAX 048-711-7915



成長や発達に心配のあるお子さんや、落ち着きがない、お友達に関心がないなど行動が気になるお子さんについて、小児科医や心理士、言語聴覚士などが相談を行い、専門的な判断のもとに、その子どもの状況に応じた診断・療育を総合的に行います。

また、福祉の増進を図ることを目的として、家族への支援及び保育園・幼稚園等も含めた地域への支援を行っています。

- ☆ さいたま市総合療育センターひまわり学園 相談・支援係  
〒331-0052 さいたま市西区三橋6-1587  
TEL 048-622-1218 FAX 048-622-4359
- ☆ さいたま市療育センターさくら草 管理・相談係  
〒338-0837 さいたま市桜区田島2-16-2  
TEL 048-710-5811 FAX 048-839-0352

障害者が地域で安心して自立した生活を営むことができるよう、事業所、障害者施設、特別支援学校、各区の障害者生活支援センター等の関係機関と連携しながら、障害者の就労支援、生活支援、授産施設に対する支援、社会参加支援などの各種支援を総合的に行います。

- ☆ さいたま市障害者総合支援センター  
〒338-0013 さいたま市中央区鈴谷7-5-7  
TEL 048-859-7255 FAX 048-852-3272

発達障害者（児）が自分らしさを発揮し、充実した生活を送れるように、保健、医療、福祉、教育、労働などの関係機関と連携しながら、本人やその家族に対する支援を行うとともに、地域の支援体制の充実を図ります。

- ☆ さいたま市発達障害者支援センター  
〒338-0013 さいたま市中央区鈴谷7-5-7  
TEL 048-859-7422 FAX 048-852-3272

18歳未満のお子さんの療育、しつけ、発達の遅れ、非行などあらゆる問題について、家族等からの相談に応じ、児童福祉の専門家が相談に応じます。

また、必要に応じて医学・心理学などによる判定を行い、これらに基づいた助言指導、施設入所の手続き等を行っています。

- ☆ 児童相談所（いずれも、子ども家庭総合センター「あいばれっと」内）  
〒330-0071 さいたま市浦和区上木崎4-4-10  
さいたま市北部児童相談所（西・北・大宮・見沼・岩槻区にお住まいの方）  
TEL 048-711-3917 FAX 048-711-8904  
さいたま市南部児童相談所（中央・桜・浦和・南・緑区にお住まいの方）  
TEL 048-711-2489 FAX 048-711-8904

さいたま市内在住の小学校高学年から中学生の児童・生徒及びその家族、関係者などを対象に、こころの病気や悩みに関するさまざまな相談を行います。

☆ さいたま市こころの健康センター

「子どもの精神保健相談室」（子ども家庭総合センター「あいぱれっと」内）

〒330-0071 さいたま市浦和区上木崎4-4-10

火・金曜日 TEL 048-762-8538 FAX 048-711-8907

主に18歳以上の身体障害者及び知的障害者を対象に、本人や家族などからの相談に応じ、必要に応じて医学的・心理学的判定や職能判定、補装具の適合判定などを行い、これらに基づいた助言指導を行っています。また、身体障害者手帳、療育手帳の交付申請に対する認定を行っています。

☆ さいたま市障害者更生相談センター（大宮区役所4階）

〒330-8501 さいたま市大宮区吉敷町1-124-1

TEL 048-646-3128 FAX 048-646-3163

高次脳機能障害者（児）及び家族の方が安心して住み慣れた地域で生活できるよう必要な情報を届けるとともに、早期に適切な支援につなぐため、関係機関と連携をとりながら相談支援を行います。

☆ さいたま市高次脳機能障害者支援センター（大宮区役所4階）

〒330-8501 さいたま市大宮区吉敷町1-124-1

TEL 048-646-3125 FAX 048-646-3163

☆ 各区支援課障害福祉係

区役所	TEL	FAX	区役所	TEL	FAX
西 区	620-2662	620-2766	桜 区	856-6172	856-6276
北 区	669-6062	669-6166	浦和区	829-6143	829-6239
大宮区	646-3062	646-3166	南 区	844-7172	844-7276
見沼区	681-6062	681-6166	緑 区	712-1172	712-1276
中央区	840-6062	840-6166	岩槻区	790-0163	790-0266

☆ 各区保健センター

区役所	TEL	FAX	区役所	TEL	FAX
西 区	620-2700	620-2769	桜 区	856-6200	856-6279
北 区	669-6100	669-6169	浦和区	824-3971	825-7405
大宮区	646-3100	646-3169	南 区	844-7200	844-7279
見沼区	681-6100	681-6169	緑 区	712-1200	712-1279
中央区	840-6111	840-6115	岩槻区	790-0222	790-0259

☆ さいたま市役所  
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

さいたま市役所保健福祉局福祉部障害政策課（さいたま市役所内）  
TEL 048-829-1306 / FAX 048-829-1981  
e-mail : shogai-seisaku@city.saitama.lg.jp

さいたま市教育委員会学校教育部特別支援教育室（さいたま市役所内）  
TEL 048-829-1667 / FAX 048-829-1990  
e-mail : kyoiku-shienkyoiku@city.saitama.lg.jp



氏名 \_\_\_\_\_

「潤いファイル」は〇〇部作成し、1部当たりの印刷経費は、〇円（概算）です。

令和3年〇月改訂版